



平成18(2006)年11月22日(水)発行

発行者 小浜市多田2-2 中山クリニック 院長 中山茂樹
http://www.nakayama-clinic.jp

ゆとりと思いやり

院長 中山 茂樹

急に寒くなり、風邪が流行り始めました。皆さん、日頃から睡眠を十分に取って下さい。また、インフルエンザのワクチンは早めに接種して下さい。

さて、最近のニュースに余り明るいものは少ないですね。そういえば、私が大学卒業（昭和53年）の頃も…質は違いますが…世の中明るくはなかったものです。その頃、友達と話していたことを思い出しました。“医学部の卒業試験も点数至上主義になったように見受けられるが、教える、学ぶということはペーパーテストによる点数だけで評価することではないだろうに”というようなことでした。私の高校・大学は学生運動の終わりがけの頃でしたが、浅間山荘の出来事もテレビに釘付けで見ましたし、学内で革マル派が中核派に襲われたりしていたのを現実に見ております。そんな時代の中で何のための学問か、何のための学生生活なのか、友人たちといろいろ論議していました。

あの頃よりも受験する学生も減ったし、年々少子化が進んでいるのに、学校での問題が増えているのは不思議な気がします。多くの理由が思い当たりますが、ひとつ言えることは、人としてしなければならない義務と、置かれた立場でできる権利、がバランスよく働かないと論理が歪むということです。義務だけを責められても、権利だけを主張されても、社会通念から外れてしまうことが多いようです。

例え話で言えば、道路上の石で転んで傷をしたとき、石を除去していなかった行政が悪いのか、十分注意していなかった自分が悪いのか、一方的に片方だけを悪者にしきれないでしょう。行政にしろ個人にしろ問題発生折にはゆとりと思いやりの心で解決しようとするのが大切だと思います。近年、ゆとり教育だけ先行して思いやり教育が不足していたことがいじめだとか暴力に繋がっているように思えてなりません。

義務と権利、ゆとりとおもいやり、さらにいえばやさしさと厳しさ、それを一人一人がきっちり認識することにより諸問題が徐々に解消してゆくように思えてなりません。一人一人が幸福と感じられるような環境を一人一人で作ってゆかねばならないのでしょう。

ウインタースポーツで冬を楽しく

事務 小西 由香

うれしいような、悲しいような雪…。スキーやボードをする人にとっては、待ち遠しい雪。しかし、日常生活をする上では寒さの中での除雪などの苦勞の多い時期がやってきます。

私もスキーとボードをやっていた一人なので、雪が降ると“ワクワク”しますがその反面、明日の通勤の心配もします。明日の通勤のほうが現実問題なので…。

ここ5~6年は妊娠、出産、育児で子供も小さく、全くスキー場へは行くことが出来なかったのですが、やっと下の子が2歳半になったので、今シーズンこそは行ってみようかと思っていますが、今の自分が5~6年前のようにすべることができるのか、そして、山の寒さに耐えられるのかと…心配です。体は正直に歳をとっていきますから。(笑)

若い頃には夜中、車で走って、翌朝スキー場へ、そして1日滑った後、とんぼ返りと、毎週のように行っていた時期もありました。今では楽しかった思い出になっています。もう、そんな無茶はできません。しかし、まだ、子供に付き添ってすべることができるかなと思っていますが、そのうち子供に追い抜かれそうになるんでしょうね。歳を取ってもママなりにがんばります。

みなさんも、寒くてつらい冬もウインタースポーツなどで楽しい冬にしてみませんか。

… … … … … … … … … … … … … … … …

《あとがき》1)下記の雑誌切抜きは、「週刊女性」11月14日号に不妊治療を行なっている全国の産婦人科医院の広告が掲載された折、当院も広告したのですが、不妊治療にかかる記事が分かりやすかったのも、その一部を転載しました。(「不妊治療の基礎知識」と題された4ページのマンガはもっと分かりやすかったのですが紙面の都合で載せられません。) 2)当院待合室のミニ・ギャラリーをご鑑賞下さい。(現在は貫井泰一郎氏の書)

治療法	対象となる人	治療内容	費用
タイミング法	卵管閉塞や精子数が著しく少ないなどの明らかな不妊原因がなく、年齢的にもある程度余裕がある人など	検査で排卵日を特定し、妊娠しやすいタイミングに性交渉を持つ方法	1か月約8000円~1万2000円くらい
人工授精	タイミング法を約半年続けても妊娠しない人、乏精子症や精子無力症の人、子宮頸管粘液が粘り強かったり炎症があったり、分泌量が少ないため精子が子宮腔内に入れない人、性交障害（勃起不完全、膣内で射精できない、強い性交痛のため性交できないなど）のある人、原因不明不妊の人など	採取した後、洗浄・濃縮した精液を、排卵日に子宮腔内に注入	約2万円
体外受精	人工授精を5~6回行っても妊娠しない人、卵管に異常がある人、骨盤内臓器が強度に癒着している人、子宮内膜症の治療を行ったにもかかわらず妊娠しない人、高度乏精子症・精子無力症の人、原因不明不妊の人など	卵子、精子とも体外に取り出して受精させ、培養液の中で育ててから、成長した胚を子宮に戻して着床を待つ	約35万円
顕微授精	通常の体外受精で受精障害のあった人、強度の精子減少症や精子無力症の人、無精子症の人など	顕微鏡で見ながら、ピペットで精子を卵子に直接注入し、受精後、子宮に戻す	約45万円

*タイミング法は保険が適用されることがほとんどですが、他の3つは適用されないため、不妊治療は金銭的負担がかなり大きいのが実状。平成16年度から都道府県ごとの助成金制度ができたとはいえ、まだ不十分。どんな治療をどこまでするのか、夫婦でよく相談することが必要でしょう。

不妊治療の内容